



平成 26 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯 島 貞 利
コード番号 6707 (東証 市場第一部)
問 合 せ 先 財務 I R 統括部長 村 野 泰 史
T E L (048) 487-6121

CCFL事業撤退に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、CCFL※事業からの撤退を決定いたしました。これに伴い、平成 26 年 3 月期決算において特別損失を計上いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

※CCFL (冷陰極蛍光放電管) … 液晶テレビ・液晶ディスプレイのバックライトや照明として使用される蛍光管

記

1. CCFL事業からの撤退

当社では、平成 9 年 (1997 年) より当事業に参入し、当初は主にノートパソコン用バックライトとして使用される CCFL 製品の製造販売を行ってまいりました。後に、液晶テレビ用バックライトとしての需要が拡大し、当事業の収益は順調に伸長してまいりました。この間、当社は CCFL 市場におけるグローバル・リーダーとして、高輝度・省電力・長寿命・高信頼性を実現するための研究開発に注力するとともに、生産能力を順次拡大し、高品質・高付加価値製品の安定的な市場供給に努めてまいりました。

こうした中、技術革新が想定以上に進み、実現は未だ先と見られていた液晶テレビ用バックライトの LED 化が加速度的に進展することとなり、事業環境は急変し、厳しさを増してまいりました。このような状況を踏まえ、当社では事業の早期再生を図るべく、平成 21 年 (2009 年) には製造設備のすべてについて減損処理を行ったほか、生産体制縮小並びに人員削減等の構造改革を実施いたしました。

その後、CCFL 需要の大宗を占める液晶テレビ用バックライトの市場規模が縮小を続ける中、縮小させた生産体制で、新たに照明市場や公共施設における案内表示板市場へ展開するなど、事業の再生を図ってまいりましたが、当期に入り、需要の減少は更に加速しております。この結果、当期における当事業の売上高は顕著に減少しており、収益改善が困難な状況に至っております。このような状況を踏まえ、当社では、当事業を不採算のまま継続することは不可能であると判断し、撤退を決定いたしました。

<事業撤退の概要>

①直近3ヶ年の連結売上高推移

(単位：百万円)

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期 第3四半期連結累計期間
連結売上高合計 (a)	131,803	126,386	103,726
CCFL事業 (b)	1,966	880	128
比率 (b/a)	1.5%	0.7%	0.1%

注) 平成26年3月期につきましては、第3四半期連結累計期間の実績値を記載しております。

②当事業に属する従業員及び資産等の取扱い

従業員：当社グループ内での配置転換を実施いたします。

製造設備：生産終了後、順次廃棄してまいります。

製品在庫：照明用などの製品需要に対応するための一部を除き廃却いたします。

③今後の予定

当事業の生産終了につきましては、平成26年度中を予定しております。また、販売につきましては、今後も照明用製品への需要が継続することから、当面は継続します。販売終了は平成27年度中を予定しております。

2. 特別損失の計上

CCFL事業からの撤退に伴い、平成26年3月期決算におきまして、連結・個別ともに20億円の事業整理損失を計上する予定です。

3. 今後の見通し

上記特別損失の計上により平成26年3月期通期決算における純利益の減少が見込まれますが、現時点におきましては、平成25年11月7日に公表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想を据え置くこととし、今後、予想が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

以 上